

校 園 長 室 か ら



学 校 教 育 目 標

共 に 学 び 共 に 伸 び る 子 ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令 和 6 年 11 月 28 日 第 32 号

歌 の 翼

もう何十年も前の話です。勉強をまじめにしているのですが、なかなか試験に合格しない。何年も浪人を重ねていたころ、少しやけっぱちになり始めたころに、何気なく聞いていたラジオから流れてきたのが、ブラームスの交響曲 1 番の第 4 楽章の有名なフレーズ。暇に任せて CD を買い求めてじっくり聞いてびっくり。大きなテーマが「苦難からの解放」。まさに音楽でそれを表現していました。以来、疲れたら聞くことになった 1 曲。

時代は進んで CD から MD(見たことないやろ～)、そして、スマホの中に音楽が収まっています。

これも随分前の話ですが、身内に不幸ごとがあり、毎日涙をこらえて仕事に向かう日々がありました。

目の前には、受験を控えた 3 年生。職場では、悲しいそぶりは一切控えていつも通りハイテンションを演じていました。

合唱コンクールで見事な大合唱。体育館の隅でこらえられず涙を流した記憶があります。そして、卒業式の前日。帰りの HR が終わったとき、一斉にクラスの生徒に囲まれて、合唱コンクールで歌った曲を歌ってくれました。

もう、涙腺大崩壊。膝や筋肉もこれほど震えるのかと感激の嵐。

毎日無理してハイテンションを装っていたことを、当時の生徒たちはすべてお見通しだったようです。

「最後に泣かせたれ」という合言葉があったのか、なかったのか。

今も当時の合唱の声は、私のスマホの中にいつでも聞ける状態にあります。歌の翼はいつでも広げられるようになっています。

さあ、明日は音楽会。音楽で人を感動させてほしいなあ。楽しみです。